

4

わたしたちの村の歩み

1

かわる 道具とくらし



↑ ア 昔の料理道具とせつづ。かまどの上になべやかまをのせて、まきなどをもやして使う。

むかし 昔の道具

だいちさんは、おばあちゃんの家で見つけた、かまという道具の写真をみんなに見せながら、話をしています。



「昔の人は、かまを使ってごはんをたいていたと聞いたよ。」



「どんなふうにするのかな。他にも昔の道具を見てみたいな。」



「今でも使われている道具はあるのかな。」

?この時間の問い

昔の道具が使われていたころは、
どのようなくらしをしていたのだろう。

活動

- ①今でも使われている昔の道具について、話し合おう。
- ②今と昔のくらしのちがいを考えて学習問題をつくろう。
- ③学習問題について予想して、学習計画を話し合おう。

学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう

だいちさんたちは、昔の道具の使われ方を調べて、昔のくらしの^{ようす}様子について話し合いました。



「電気がないころは、どうやってくらしていたんだろう。」



「電化^{せいひん}製品がないくらして、どんな様子なんだろう。」



「道具とわたしたちのくらしは^{ふか}深くかかわっているのね。」

だいちさんたちは学習問題をつくりました。そして、調べることや調べ方^きを決めました。

学びのてびき

道具調べカードをつくる

- ①道具をかんさつしながら、絵をかく。
- ②道具の名前や使われていた時期、使われ方、気づいたことなどを書く。
- ③道具が使われていた時期を分ける。
「おじいさん、おばあさんが子どものころ」
「お父さん、お母さんが子どものころ」など。

学習問題

道具がかわることで、人々のくらしはどのようにかわってきたのだろう。

学習計画

学習問題について予想したこと

- ・くらしがべんりになったと思う。
- ・せんたくやそうじなどの家事^{かじ}が楽になったと思う。

調べること

- ・道具の名前と使われ方^{じき}
- ・道具が使われていた時期
- ・人々のくらし

調べ方

- ・ふるさと文化センターを見学する。
- ・家の人にインタビューする。
- ・調べたことを道具調べカードに記録^{きろく}する。



つながる・ひろがる

▶ 沖縄県立博物館・美術館 (YouTube)

↑ ア ふるさと文化センターの様子

↑ イ ふるさと文化センター

?この時間の問い

ふるさと文化センターには、どのような道具があるのだろう。

ふるさと文化センターをたずねて

いまりさんたちは、昔のくらしの様子を調べるために、ふるさと文化センターをたずねました。

かつどう活動

- ① ふるさと文化センターを見学しよう。
- ② 昔の道具が、いつ、どんなことに使われたか調べよう。
- ③ 昔の道具について絵カードにまとめよう。



「木を使った道具が多いね。そうりは、アダンやシュロという植物で作られているんだって。」



「この大きくて重そうなかめは何に使うのかな。」



「まきと火を使ってごはんをたくさんだね。時間も手間もかかりそうだな。」



↑ **ウ** やかんと火鉢



↑ **エ** シュロやアダンであんだぞうり



↑ **オ** ハンドルを回して使う電話機



↑ **カ** ねじまき式の時計



↑ **キ** 中に炭火を入れて使うアイロン



↑ **ク** 石油やとう油を入れて使うランプ

ふるさと文化センターの人の話



昔はガスも電気もありませんでした。そのため、かまでごはんをたいていました。また、電とうもないので、夜はランプに火をつけて明るくしていました。

みなさんのおじいさんやおばあさんが子どものころから、いろいろな電化製品が使われるようになり、人々のくらしは大きくかわりました。



↑ ア ^{みなみだいとうそん} 南大東村内の様子 (1970 年)



↑ イ ^{そんやくしょ} 南大東村役所 (1970 年)



↑ ウ ^{しょうと} 南大東初等学校 (1960 年ごろ)



↑ エ ^{きょく} 南大東ゆうびん局 (1970 年)

この時間の問い

家の人が
子どもころは、
どんな暮らし
だったのだろう。

かつての活動

- ① 家の人に、昔の道具や暮らしについてインタビューしよう。
- ② 今と昔の暮らしのちがいをまとめよう。

むかし

昔の暮らしをインタビューする

ともやさんたちは、家の人に子どもころの暮らしについてインタビューしました。



子どもころは、ごはんをたくときにはかまどを使っていたわ。ガスコンロが使えるようになってからは、食事を用意する時間が短くなりましたね。

ずっと白黒テレビだったので、はじめてカラーテレビを見たときはおどろいたよ。家の外で、友だちとこまやめんこで遊んだよ。





↑ オ 南大東村内の様子 (1970 年)



↑ カ 南大東幼稚園のかせつプール (1991 年)



↑ キ 南大東小中学校 (1980 年)



↑ ク 今の与儀商店がある通り (1990 年)



テレビゲームをしたり、まんがを読んだりするのが好きだったわ。家の中で友だちとよく遊んでいたね。

学校でコンピューターが使われはじめて、学校のプリントが、手書きのものからコンピューターでいんさつされたものにかわったよ。



今では、教室に電子黒板があり、タブレットが1人1台使えるようになりました。



「人々のくらしは、どんどんべんりになってきたんだね。」



「よりよいくらしをしたいと思うのは、今も昔も同じだね。」





↑ ア わき水でせんたくをする様子
(1970年代 沖縄県南部)



↑ イ せんたくをする様子
(1960年代 沖縄県南部)

?この時間の問い

道具とくらしの
様子は、どのように
かわってきたの
だろう。

かわってきたくらし

うたこさんたちは、昔と今では道具の
使い方がどのようにかわったのか、話を
きいてみました。

かっどう 活動

- ① 今と昔の道具調べ
カードをくらべる。
- ② 道具がかわって人々
のくらしがどうか
わったのか話し合う。
- ③ わかったことを
短い言葉で
まとめる。



うたこさんのおばあさんの話

わたしが子どものころは、川の
水を使って、たらいに入れてか
ら、せんたくしていました。

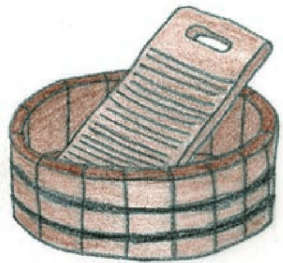
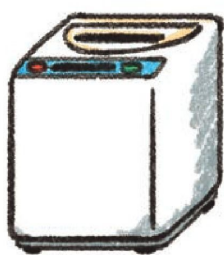
あらう物をしまいずつ、せんたく板を使っ
て、あらうのでたいへんでした。それから
電気せんたくきがでてきたので、よごれも
きれいにおちるし、べんりになりました。



スマートフォンで
そうさできる
電化製品もあるよ。



↑ ウ べんりになった今のせんたくき

[道具の名前] せんたく板とたらい	[使われていた時期] おじいさん、 おばあさんが 子どものころ	[道具の名前] ローラーのついた せんたくき	[使われていた時期] お父さん、お母さん が生まれる前
			
[メモ] シャがみながら、1まいずつ手であらうので、つかれるし時間もかかる。水をため、よごれをたしかめてあらうので、むだな水を使わない。		[メモ] 自動であらったりすすいだりしてくれるようになって、べんりになった。ローラーの間にせんたく物をはさんで、しぼっていた。	
[道具の名前] ぜんじどう 全自動せんたくき	[使われていた時期] お父さん、お母さん が生まれ育ったころ から今	[道具の名前] かんそうきのついた せんたくき	[使われていた時期] わたしたちが生まれ 育ったころから今
			
[メモ] せんたく物を入れるだけで、せんたく、だっ水をきかいが自動でやってくれる。		[メモ] せんたくからかんそうまで、すべて自動で行う。天気^{わる}の悪い日でも、せんたく物が早くかわかせるので、べんりだ。	

うたこさんたちは、道具調べカードをつくって、くらしの様子^{ようす}のちがいを話し合いました。



「昔は電気が使えないから、たくさんの手間^{てま}と時間がかかっていたんだね。」



「電気が使えるようになって、くらしがべんりになったんだね。」

年代 ねんだい	100 年前 たいしょう 大正の年代	しょうわ 昭和の年代	(おじいさん、 おばあさんが 子どものころ) 50 年前
道具	せんたくばち、たらい  [...]	レコードプレーヤー  [...]	電話  [...] 二そう式せんたくき  [...]
くらしの様子	 	・水道やガスが使われ始める。 ・家の外で、めんこなどをして遊んでいた。 ・井戸から水をくみ上げて、使う家も多かった。 ・大きな戦争があって、沖縄が戦場になった。	 ・電化製品が出回り始める。 ・テレビやせんたくきを持つ家がふえてきた。

どうぐ 道具とくらしのうつりかわり

まとめよう

がくしゅうちんだい 学習問題

道具が
かわることで、
人々のくらしは
どのように
かわってきたの
だろう。

キーワード

ねんびょう 年表

かいせつ

長い時期の間に起きた
できごとなどを、
年月の古い順にならべた
表のこと。

だいちさんたちは、これまでにつくった道具調べカードをならべて、^{ねんびょう}年表をつくりました。



「年表をつくと、くらしのうつりかわりが、よくわかるね。」



「道具といっしょに、くらしの^{よう}様子もうつりかわってきたのね。」

学びのてびき 年表からうつりかわりをとらえる

- ①年表の左はしを、およそ「100 年前」、右はしを「今」にする。
- ②道具調べカードを、あてはまる年代のところにはる。
- ③それぞれの年代について、くらしの様子を書きこむ。
- ④道具調べカードだけではなく、^{しゃしん}写真や絵をはってもよい。

30 年前 平成の年代 (お父さん、お母さんが 子どものころ)			今 令和の年代 (れい わ)	
CD プレーヤー 	けいたい電話 	かんそうきつき せんたくき 	けいたい 音楽プレーヤー 	スマートフォン 
 カラテレビ そうじき せんたくき		 うす型カラテレビ IH クッキングヒーター 食器あらい		

・家の中で、テレビゲームなどで遊ぶようになった。
・電化製品を使うのがあたりまえのようになった。

・パソコンやスマートフォンで、インターネットをりようしている。
・持ち運びできるゲームで遊ぶ。

だいちさんたちは、これまでの学習を
ふり返し、道具やくらしのほかに、時代と
ともにかわってきたことはないか、話し
合いました。



「今のくらしって、あたりまえの
ことだと思っていたけど、そう
ではなかったのね。」



「家の人にインタビューした時に、
いろいろなしせつができて、べ
んりになったと言っていたよ。」



「南大東村がどのようにかわって
きたのか、もっと調べたいな。」

キーワード

ねんごう
年号

かいせつ

ある年代の期間を
さす言葉。

めいじ 明治：1868 年から

1912 年

たいしやう 大正：1912 年から

1926 年

しやうわ 昭和：1926 年から

1989 年

へいせい 平成：1989 年から

2019 年

れい わ 令和：2019 年から

2

みなみだいとうそん

南大東村の うつりかわり

つながる・ひろがる

▶ 南の島の小さな鉄道 (YouTube)



↑ ア さとうきびを運ぶシュガートレインと機関車庫 (1963 年)

?この時間の問い

みなみだいとうそん ようす
南大東村の様子は、
むかし
昔と今では、
どのように
ちがうのだろう。

かわるまちの様子

いまりさんたちは、ふるさと文化センターで見つけた古い写真しゃしんと今の写真を見くらべて、話合っています。

かつどう 活動

- ① 昔の南大東村の様子について、話をきいてみよう。
- ② 南大東村のうつりかわりについて、学習問題をつくろう。
- ③ 学習問題を予想し、学習計画を話し合おう。



「ふるさと文化センターの横にある機関車きかんしゃだよね。」



「さとうきびを運はこんでいたから、シュガートレインとよばれるようになったんだね。」



「今はトラックでさとうきびを運んでいるよね。」



「南大東村の昔むかしの様子をもっと知りしらたいな。調べてみようよ。」



↑ さとうきびを運ぶトラック (2022 年)

がくしゅうもんだい 学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう

ともやさんたちは，村がどのようなにか
わってきたのかを調べるために，村の交
通，人口，公共しせつに注目して，調べ
る学習計画を立てました。



↑ てんじされている
シュガートレイン

学習問題 南大東村の様子は，どのようにかわってきたのだろう。

学習計画

調べること

- ・交通のうつりかわり
- ・人口のうつりかわり
- ・公共しせつのうつりかわり

調べ方

- ・昔から住んでいる人にインタビューする。
- ・村役場できいてみる。
- ・郷土資料館や図書室で調べる。
- ・年表や地図などを調べる。

まとめ方

- ・絵カードにまとめる。
- ・年表に書き足す。

つながる・ひろがる

▶ 南大東空港のうつりかわり (102 ページ)



↑ ア だいななくにさちまる 第七国幸丸 (1963 年)



↑ イ だいとうまる 大東丸 (1975 年～ 1990 年 4 月運航)



↑ ウ しょだい 初代だいとう (1990 年 5 月～ 2011 年 5 月運航)



↑ エ 二代目だいとう (2011 年 6 月から現在まで運航)

この時間の問い

おきなわだいとう
南大東村の

交通の広がりは
どのようにかわって
きたのだろう。

活動

- ① 村役場の人に
インタビュー
しよう。
- ② 交通の
うつりかわりが
わかる
しりょうを見て、
話し合おう。
- ③ 調べたことを
絵カードに
まとめよう。

こうつう

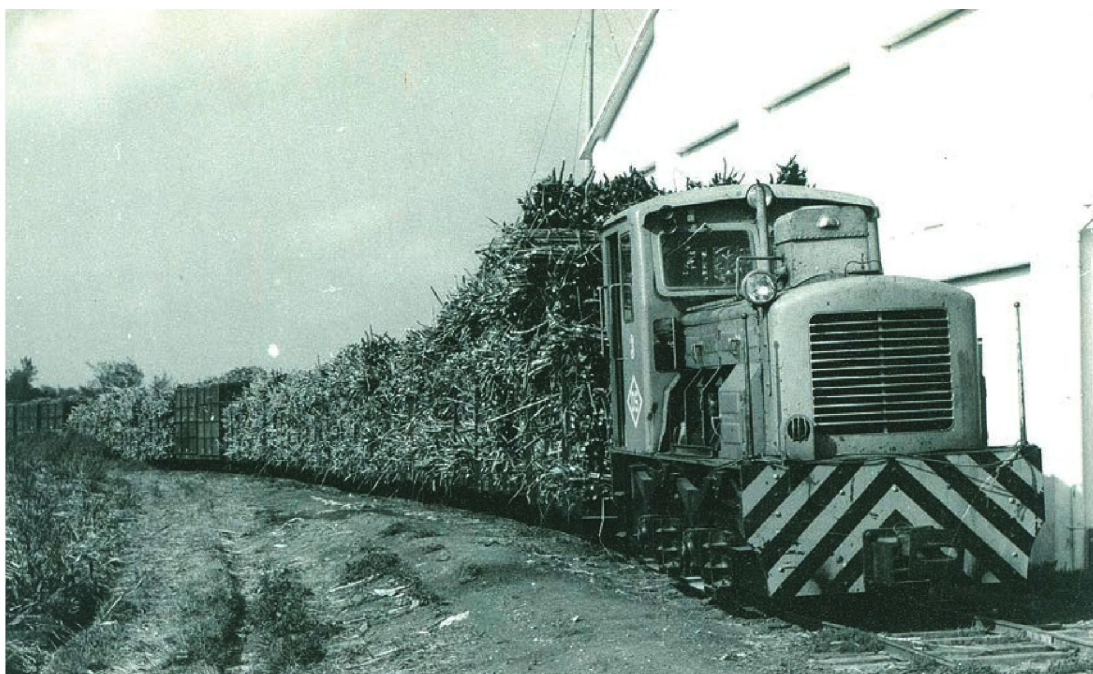
交通はどのようにかわったのかな

うたこさんたちは、村の交通のうつり
かわりについて、役場の人（やくば）にインタビュー
しました。



村役場の人の話

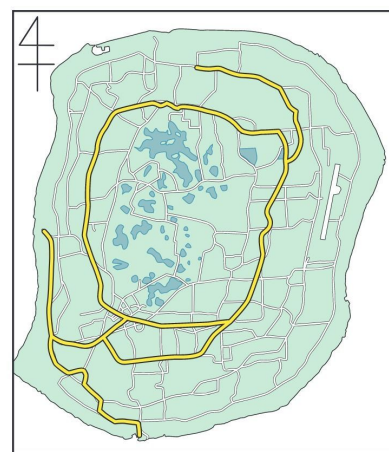
南大東村（おきなわ）と沖縄島（ひこうき）を行き来する
には、飛行機（ふね）か船（つか）を使います。
民間航空（みんかんこうくう）による飛行機（うんこう）の運航（うんこう）が
はじまったのは 1965（昭和 40）年、定期（しょうわ）船（ていき）の運航（うんこう）がはじまったのは 1975 年です。
運航（うんこう）をつづけるためにさまざまな苦勞（くろう）がありましたが、たくさんの人々のどりよくで、
今も運航（うんこう）をつづけることができます。



↑ オ 学校の体育館うら (現在は道路) を走るシュガートレイン (1970 年)



↑ カ シュガートレインの線路 (1980 年)



↑ キ シュガートレインが走っていた場所

うたこさんたちが調べていくと、シュガートレインが村を走っていたころの写真を見つけました。



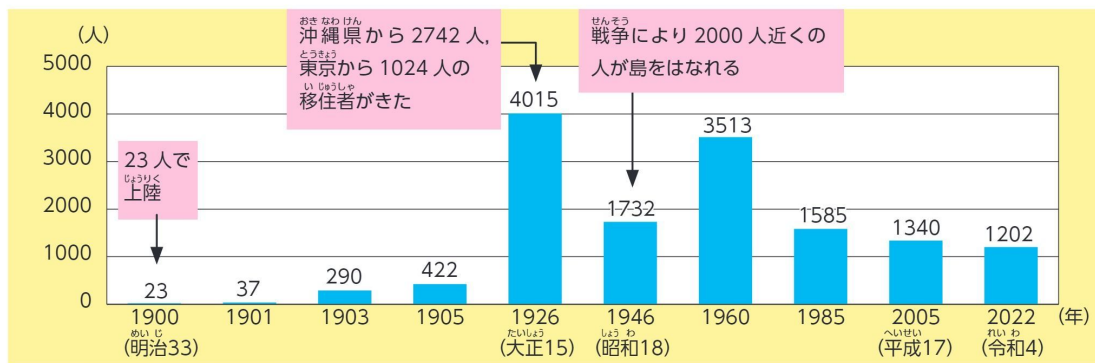
「線路は西港や亀池港，北港までつづいていたんだね。」



「線路のあった道は，今では道路や遊歩道として使われているんだね。」



↑ ク 線路のあと



ア 南大東村の人口のうつりかわり

この時間の問い

南大東村の人口は
どのようにかわって
きたのだろう。

人口はどのようにかわったのかな

だいちさんたちは村役場の人に、人口
のうつりかわりについてききました。

活動

- ①南大東村の人口について話を聞いてみよう。
- ②人口のうつりかわりを表したグラフを調べよう。
- ③調べたことを絵カードにまとめよう。



村役場の人の話

南大東村は、「さとうきびは島を守り・島は国土を守る」をスローガンに、これまでさとうきび農業をがんばってきました。23 名だった住民は、1960 年には 3500 人をこえました。その後、人口がへって近年はよこばいになっています。

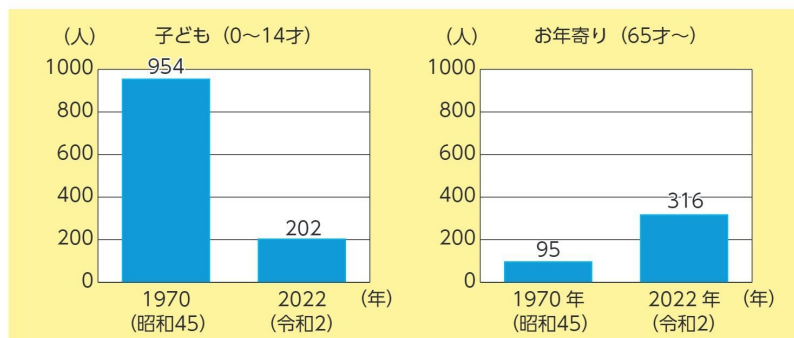
また、子どもの人数がへって、お年寄りの人が多くなっています。南大東村も少しずつ少子高齢化が進んでいます。

キーワード

少子高齢化

かいせつ

お年寄り (65 歳才以上) の人口がふえて、子どもなどの人口がへること。



イ 南大東村の子どもとお年寄りの人口のうつりかわり

こうきょう

公共しせつはどのようにかわったのかな

いまりさんたちは村役場の人に、公共しせつについて話をききました。



村役場の人の話

公共しせつは、地いきでくらすみんなのためのしせつです。小学校や中学校、^{こうみんかん}公民館やちゅうざい所^{しよ}も公共しせつです。公共しせつをつくったり、新しくしたりするために、みなさんのぜいきん^{つか}が使われています。



「公共しせつは、村役場が中心になって^{ととの}整えているんだね。」



「村にはどのくらいの数の公共しせつがあるのかな。」



「ほけんセンターやふくしセンターも公共しせつなんだね。」



「だれもが^{あんしん}安心して地いきでくらすためにつくられているのね。」



↑ ㊦ ほけんセンター



↑ ㊦ 高れい者生活ふくしセンター

?この時間の問い

南大東村の公共しせつは、どのようにつくられようされているのだろう。

かっどう活動

- ①南大東村の公共しせつについて話を聞いてみよう。
- ②南大東村の公共しせつがいつできたのか調べてみよう。
- ③調べたことを^{ねんぴよう}絵カードや年表にまとめよう。

Q キーワード

ぜいきん

かいせつ

学校や村役場などみんなが使う^{つか}しせつをたてたり、みんなの役に立つ^{かっどう}活動をするために、使われるお金のこと。

50 年前

年代 ねんだい	100 年前 たいしょう 大正の年代	しょうわ 昭和の年代 (おじいさん、おばあさんが子どものころ)				
道具						
くらしの 様子	「道具」「くらしの様子」はしょうりゃく					
交通	にしこう さいしょかん 西港～在所間 でシュガー トレインの きゃくしゃうんこう 客車運行 かいし (1917 年)	ひ こうじょう 飛行場が できる (1934 年)	みんかんこうくう 民間航空 うんこう 運輸 かいし (1965 年)		てい き せん 定期船 だいてうまる 大東丸 運輸 かいし (1975 年)	シュガー トレイン はい し 廃止 (1983 年)
人口	4015 人 (1926 年)	3023 人 (1943 年)	1732 人 (1946 年)	3513 人 (1960 年)	2591 人 (1970 年)	
公共しせつ	小学校が できる (1908 年)	けいさつ署、 ゆうびん局、 しんりょう所 ができる (1946 年)		そんやく ば 村役場が できる (1960 年)	かんい 水道の きゅうすい 給水が はじ 始まる (1976 年)	
		中学校ができる (1948 年)				

↑ ア みんなで書き足した年表

まとめよう

学習問題

南大東村の
様子は、
どのように
かわって
きたのだろう。

年表を書き足そう

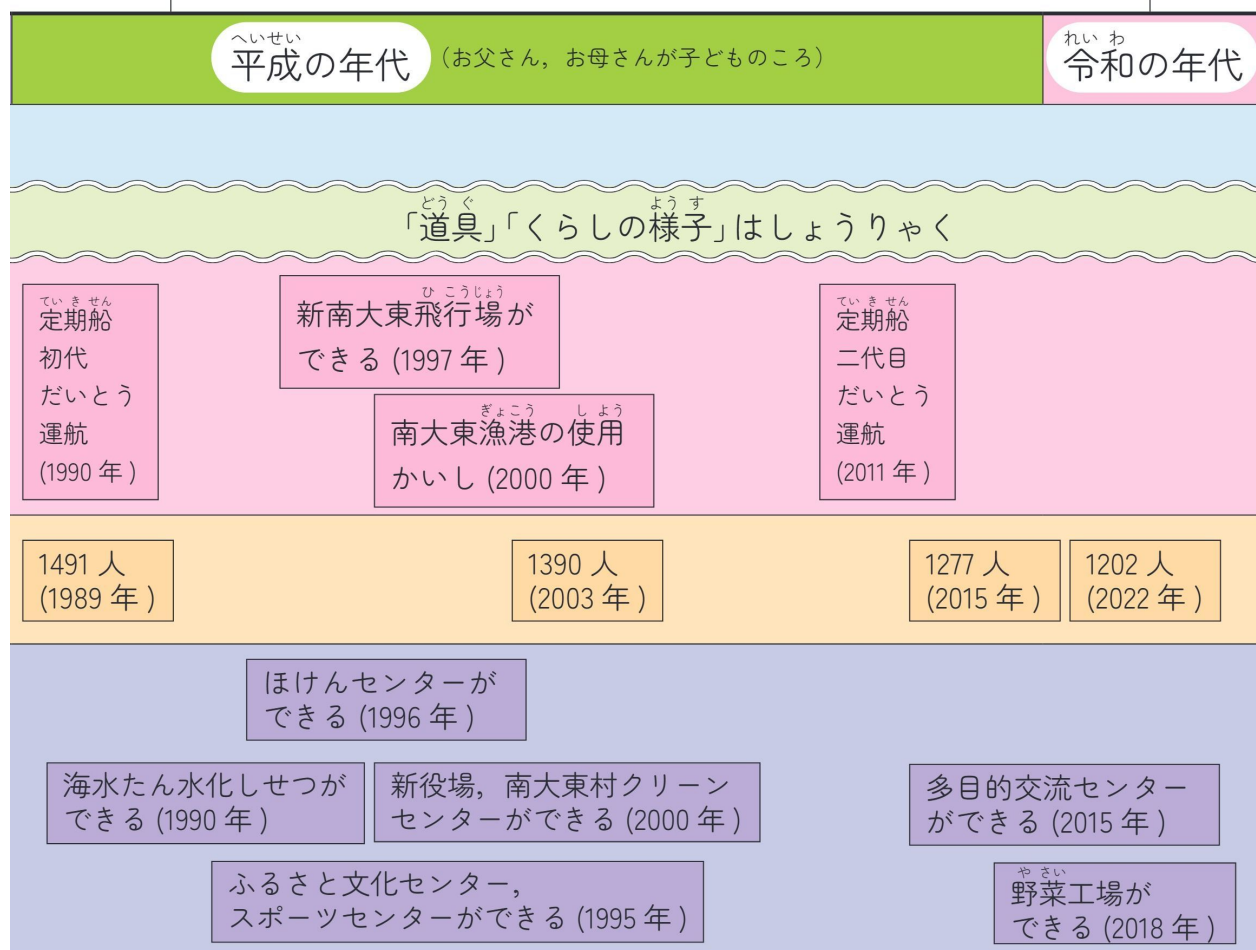
ともやさんたちは、これまでに調べてきた、南大東村の交通、人口、公共しせつについて、年表にまとめることにしました。

学びのてびき 年表からうつりかわりをとらえる

- ①前の学習でつくった年表の下に、交通・人口・公共しせつのわくをくわえる。
- ②つくった絵カードを、あてはまる時期にはる。
- ③気づいたことなどを書き入れる。
- ④年表を年代ごとに見て、今の様子とくらべる。

30 年前

今



「1990 年から 2000 年にかけて、公共しせつが
たくさんできているね。村役場のたてものが新
しくなったのも、このころだよ。」



「シュガートレインは、66 年間も南大東村を走っ
ていたのね。」



「まとめた年表をみると、南大東村のいろいろな
ことがわかりそうだね。」



「交通、人口、公共しせつには、たがいにつな
がりがありそうだよ。」

つなげよう

これからの
南大東村は
どのように
かわっていくのが
よいのだろう。

ねんびょう 年表を見て話し合おう

うたこさんたちは、つくった年表を見
ながら、調^{しら}べたことを話し合いました。



「南大東村の生活がべんりでゆた
かになるように、道^{どう}路^ろや公^{こう}共^{きょう}し
せ^{せい}つが整^{せい}びされていたよ。」



やくば 村役場の人の話

役場では、よりよい南大東村になるように、も
くひょうを立ててまちづくりをしています。たと
えば「安^{あん}心^{しん}してくらせるまち」などです。

うたこさんたちは、これからの南大東村がどのように
かわっていくのがよいのか、みんなで話し合いました。

南大東村のよいところを
しょうかいして、
村に来た人が楽しめる村に
したいな。



事^じ故^こや事^じ件^{けん}が少^{すく}ないま
ちにしたいな。
わたしたちにできること
はなんだろう。



お年^{とし}寄^よりや、しょうがい
のある人が生活しやすくなる
しせつがふえてほしいね。



村のれきしや、でんとう
ぎょうじを大切に
していきたいな。



うたこさんのノート

南大東村の人口^{じんこう}は、このままだと少しずつへっていきそうだ。赤ちゃんやお年寄^{としよ}
り、しょうがいのある人や外国の人にもくらしやすく遊びに行きやすい村にすると、
もっと人口がふえると思う。でんとうぎょうじや自然^{まも}を守りながら、よりよい南大東
村を考えていきたい。

広げよう

南大東村の昔の様子



2004 年 ※1



どうして南大東村に
すなはま
砂浜があるのかな。



1988 年 ※2



たくさん子どもが歩いて
いるね。何をしているのかな。



1984 年ごろ ※3



1990 年ごろ ※4



昔の南大東村の写真です。
どこの場所かわかるかな。
家族にもきいてみよう。



1965 年 ※5



1930 年ごろ ※6



上の写真のおくに見える
石づみのたてもの、
どこかで見たことがあるよ。



- ※1 2004 年 9 月に来襲した台風 18 号により、北港の東側に白い細かい砂が大量に打ち上げられ、一時的に砂浜ができた。
- ※2 南大東小学校創立 80 周年、中学校創立 40 周年記念のパレードの様子。
- ※3 今の海軍棒プールがある場所。
- ※4 大東神社のすもう場。
- ※5 在所区にあった「大東映画館」。
- ※6 現在の A コープの倉庫。1955(昭和 30)年に大東糖業が大規模販売店として建てた。

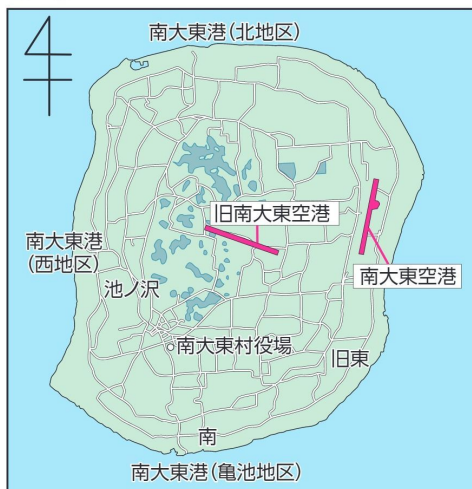
広げよう

みなみだいとうくうこう

南大東空港のうつりかわり

南大東空港は、現在は島の東がわにありますが、約25年前までは、島の中央に空港がありました。その空港は、今から約90年前の1934（昭和9）年に、昔の日本軍によって海軍飛行場としてつくられたものです。

戦争が終わった後、かっそう路が整えられ、1965年には民間航空による運用がはじまりました。



↑ 昔の南大東空港 (旧南大東空港)



↑ 昔の南大東空港があった場所 (今は、ラム酒をつくる工場として使われている)

つながる・ひろがる

新南大東空港建設の記録 (YouTube)



復帰前は、
アメリカの法りつで
かつそう路の長さを
決めていました。

↑ 村ではじめての民間飛行機 (飛行機に乗る人と見送る人たち)

南大東村ではじめての民間飛行機は、エアーアメリカ社の
のビーチクラフトという 10 人乗りの小さな飛行機でした。
1968 年には、かつそう路が 1,200m になり、飛行機も 40 人
以上乗ることができる YS-11 型機に変わりました。

しかし、1972 年に沖縄が日本へ復帰すると、法りつが変わり、
かつそう路が 800m しか使えなくなりました。そのため、
飛行機は YS-11 型機から、19 人乗りの DHC-6 型機に変わりました。



↑ YS-11 型機 (40 ~ 60 人乗り・全長 26.3m) - 南西航空



↑ DHC-6 型機 (19 人乗り・全長 15.8 m) - 南西航空

ディーエイチシー がた き 南大東 と 那覇 の間を 1 日に 2 便、飛んでいました。しかし、
天気が悪いときや風が強いときには飛ぶことができなかったため、欠航する
ことがたびたびありました。

そこで、かっそう路を長くするために新しい飛行場をつくることになりました。
それが、島の東がわにつくられた現在の南大東空港です。1997（平成 9）
年につくられた新しい飛行場は、大がたのプロペラ機が飛ぶことができる
1,500m のかっそう路があり、飛行機も「ダッシュエイト」とよばれる
大がたの DHC-8 型機へと変わりました。



↑ DHC-8 型機 Q100 (39 人乗り・全長 22.3m) -琉球エアークommuter (RAC)



↑ 新しくつくられた南大東空港

ダッシュエイトは39人乗りの大型プロペラ機です。これまでのDHC-6型機にくらべて飛行時間も3分の2となり、南大東と那覇の間を早く飛ぶことができました。

これまでのように、強風による欠航も少なくなり、^{あんてい}安定したかいてきな飛行ができるようになりました。また、1997年10月9日には、南大東と北大東を^{ろせん}おすぶ^{かいづ}路線も開通しました。

その後、1999年にはダッシュエイトから50人乗りのDHC-8型機^{キュー}Q300に変わり、2016年からはDHC-8型機Q400へと変わっています。



↑ DHC-8 型機- Q300 (50 人乗り・全長 27.4m) - RAC



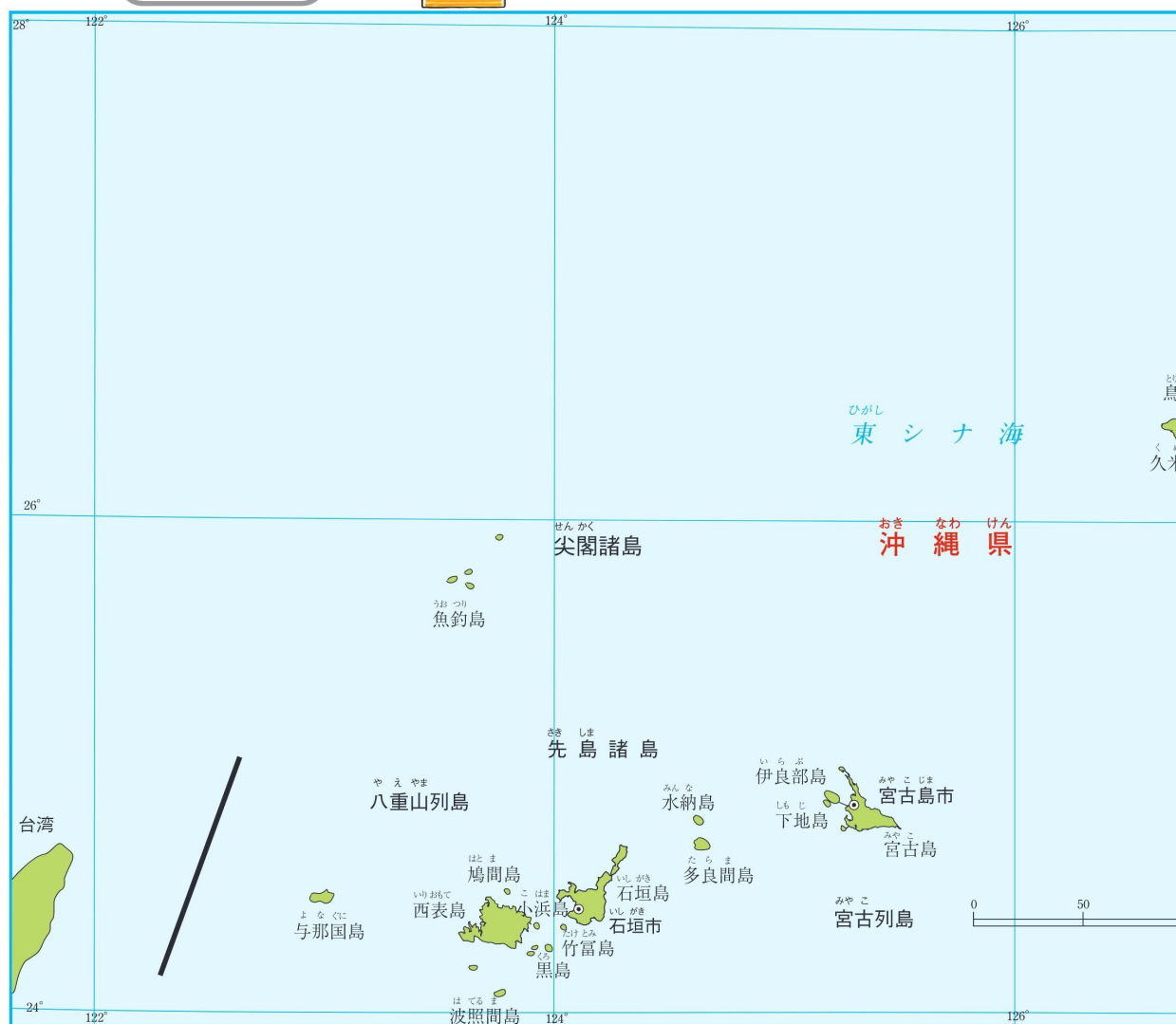
↑ DHC-8 型機- Q400 (カーゴ・コンビ 50 人乗り・全長 32.8m) - RAC

おきなわけん 沖縄県の地図

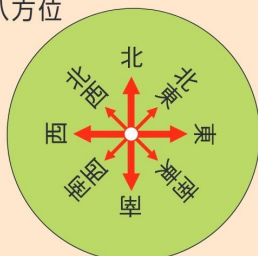
沖縄県は
海もふくめると
広い県だね。



沖縄県はたくさんの離島で
なりたっているんだね。
いくつかの島があるのかな。



八方位



なんとう ほくせい
南東や北西などの、
はちほうく
八つの方角のよび方を、
はちほうい
八方位と言います。



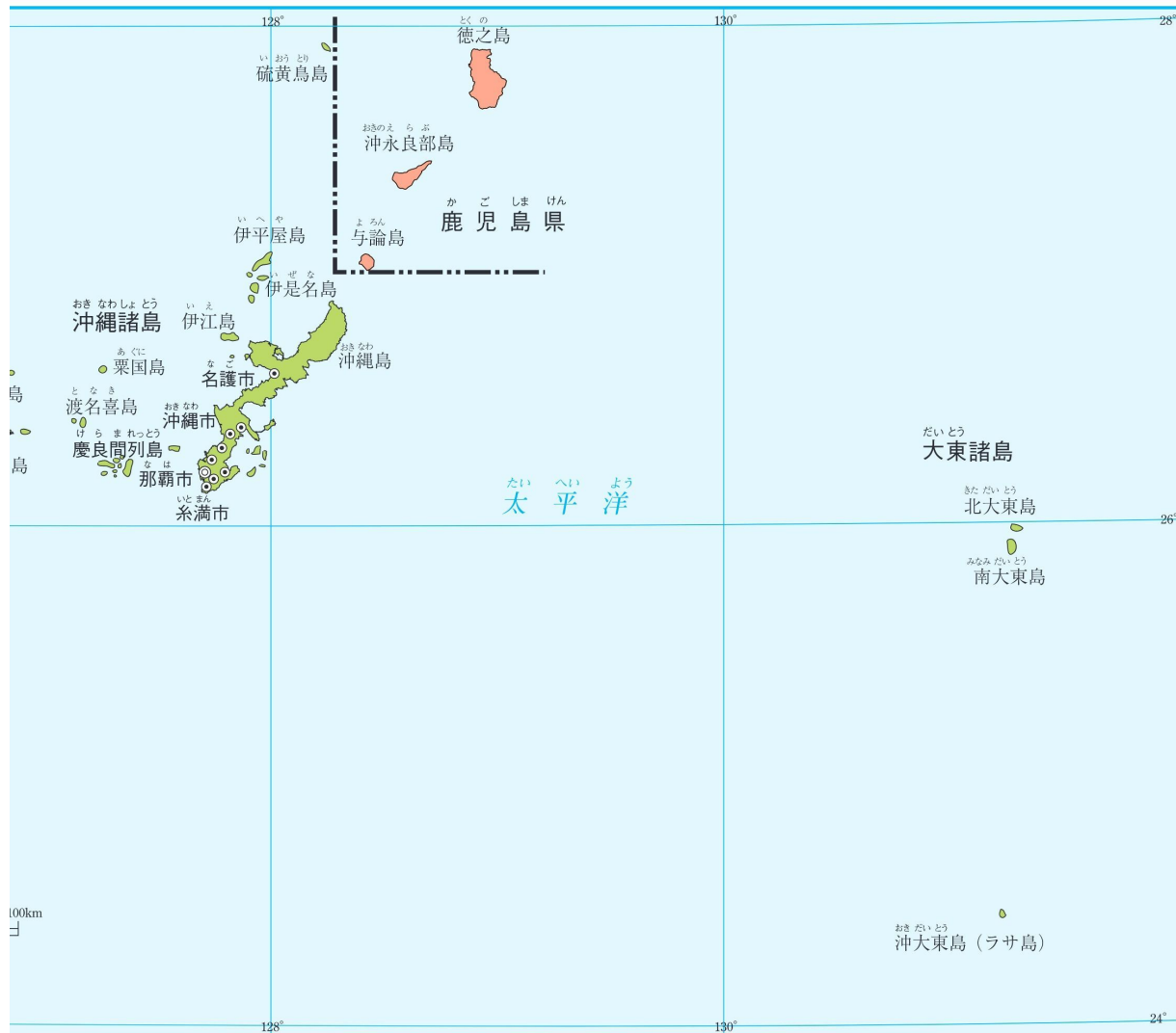
なはし
那覇市は、
南大東村から
見て、西に
あるんだね。



地図帳で調べると、
沖縄県には 160 の島が
あることがわかったよ。



160 の島のうち
人の住んでいる
島は 47 です。



●沖縄県の四つの端

- 東の端 北大東島
- 西の端 与那国島
- 南の端 波照間島
- 北の端 硫黄島



それぞれの島を
地図の中からさがして、
位置をたしかめよう。